



第417回定期演奏会

2022.5.2(月)

18:45開演 [17:45開場]
Mon May 2, 2022 Start 18:45 [Open 17:45]

延期公演

2022年1月21日に予定しておりました
「第417回定期演奏会」を延期開催いたします。

広島文化学園HBGホール

広島市中区加古町3-3
Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

広島交響楽団

Hiroshima Symphony Orchestra
The 417th Subscription Concert

ショスタコーヴィチ
バレエ組曲「黄金時代」

Shostakovich: The Golden Age

ショスタコーヴィチ
ヴァイオリン協奏曲第1番イ短調作品77

Shostakovich: Violin Concerto No.1 in A minor Op.77

トゥビン(没後40年)
交響曲第2番ロ短調「伝説的」

Tubin: Symphony No.2 in B minor "Legendary"

チケット(税込／全席指定)
S席5,300円・A席4,800円・B席4,300円(学生1,500円)
※学生席は小学生以上25歳以下の学生が対象。要学生証。(広響事務局のみで取り扱い)

チケット発売日／2022年3月2日(水)

プレイガイド

ローソンチケット(Lコード:62033)・チケットぴあ(Pコード:212-132)・広響事務局
※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。
※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。

主催／公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

プレミアム協賛／ 広島電鉄

後援／広島県、広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、
中国放送、テレビ新広島、広島テレビ、広島ホームテレビ、
広島エフエム放送、月刊ウェンディ出版局

beyond
2020

広響公式HP

お問い合わせ ▶ 広響事務局 TEL: 082-532-3080 HP: <http://hirokyo.or.jp>





終身名誉指揮者、秋山和慶は2022年1月2日をもって81歳を迎えた。今尚元気で、指揮台での流麗な指揮さばきと円熟の音楽を堪能できる我々は幸せな限りである。「黄金時代」や「伝説的」と言った表題もそのようなことを意識しての選曲なのかどうか?は別にしても81歳とは思えない挑戦的なプログラムだ。秋山のトゥビンは2002年の「第3番」以来で、第2番も秋山としては初の演目となる。ソリストにはあえて若手の辻彩奈を指名。才能ある次世代アーティストにチャンスを与えようとするその姿勢にも頭がさがる。



指揮
秋山和慶

Conductor / Kazuyoshi Akiyama

齋藤秀雄のもとで指揮法を修め、1963年に桐朋学園大学音楽学部を卒業。1964年2月に東京交響楽団を指揮してデビューののち同団の音楽監督・常任指揮者を40年間にわたり務める。

トロント交響楽団の副指揮者、アメリカ響音楽監督、バンクーバー響音楽監督(現在桂冠指揮者)、シラキュース響音楽監督を歴任。フィラデルフィア管、ニューヨーク・フィル、ボストン響、クリーヴランド管、シカゴ響、ロイヤル・フィル、NDR北ドイツ放響、ケルンWDR放響、ベルリン放響、スイス・ロマンド管、チューリッヒ・トーンハレ管などに客演している。

これまでにサントリー音楽賞、芸術選奨文部大臣賞、大阪府民劇場賞、大阪芸術賞、川崎市文化賞をはじめ、東京交響楽団とともに毎日芸術賞、京都音楽賞大賞、モービル音楽賞などを受賞。2001年紫綬褒章、2011年旭日小綬章を受章。2014年度文化功労者に選出。同年中国文化賞(広島)、徳島県表彰特別功労賞を受賞、2015年渡邊暁雄音楽基金特別賞を受賞。2014年指揮者生活50年を迎え、2015年2月には回想録「ところで、きょう指揮したのは?」(共著/アルテスパブリッシング刊)を出版した。

現在、中部フィルハーモニー交響楽団芸術監督・首席指揮者、日本センチュリー交響楽団ミュージックアドバイザー、岡山フィルハーモニック管弦楽団ミュージックアドバイザー、東京交響楽団桂冠指揮者、広島交響楽団終身名誉指揮者、九州交響楽団桂冠指揮者など多くの任を務めるほか、洗足学園音楽大学芸術監督・特別教授、京都市立芸術大学客員教授を務めている。



ヴァイオリン
辻彩奈

Violin / Ayana Tsuji

1997年岐阜県生まれ。東京音楽大学卒業。2016年モントリオール国際音楽コンクール第1位、併せて5つの特別賞(バッハ賞、パガニーニ賞、カナダ人作品賞、ソナタ賞、セミファイナルベストリサイタル賞)を受賞。3歳からスズキメソードにてヴァイオリンを始める。11歳で名古屋フィルハーモニー交響楽団と共に演奏後、モントリオール交響楽団、スイス・ロマンド管弦楽団、ベトナム国立交響楽団、札幌交響楽団、山形交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢など多くの国内外のオーケストラと共に演奏している。また室内楽では、チェロの堤剛、ピアノの江口玲、伊藤恵、阪田知樹、藤田真央、エマニュエル・シュトロッセの各氏らとの共演している。2018年「第28回出光音楽賞」を受賞。これまでに小林健次、矢口十詩子、中澤きみ子、小栗まち絵、原田幸一郎、レジス・パスキエの各氏に師事。2019年、ジョナサン・ノット指揮/スイス・ロマンド管弦楽団とジュネーヴおよび日本にてツアーワークshopを実施し、その艶やかな音色と表現によって各方面から高い評価を得た。現在、東京音楽大学アーティストディプロマに特別特待生として在籍中。使用楽器は、NPO法人イエローエンジェルより貸与のJoannes Baptista Guadagnini 1748である。

新型コロナウイルスへの対応について

会場では、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として以下の取り組みを行っております。皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。



当日はご自宅で検温していただき平熱と比べ高い発熱がある場合はご来場をお控えください。



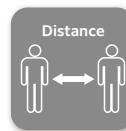
会場内では、常時マスクの着用をお願いいたします。



手洗い、消毒の励行にご協力ください。



会場内の不要な会話はお控えいただき、演奏後の「プラボ」などのお声掛けもおやめください。



入場時、トイレなどは間隔を空けておびいいただくようお願いいたします。